

3年次前期・保健師コース必修

1単位・30時間

【概要・目的】

保健師が展開する個別支援およびグループ支援の技術・態度を理解し、住民の健康課題を解決・改善し健康増進能力を高めるための公衆衛生看護の技術と方法を習得する。

【到達目標】

- 1) 地域における個別支援からグループ支援の展開方法について説明する。
 - 2) 事例を用いて家族アセスメントおよび家族相談を実践、評価する。
 - 3) シミュレーションによる家庭訪問を実施、評価する。
 - 4) 健康教育の計画・実施・評価の一連の過程を説明する。
 - 5) 事例を用いて健康教育を実施、評価する。
 - 6) 住民の健康課題を解決・改善し健康増進能力を高めるための個別支援およびグループ支援のあり方について考察する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 個別支援からグループ支援の展開方法（講義）
 - 2)～4) 家族アセスメント・家族相談支援技術（講義・演習）
 - 5)～7) 家庭訪問による支援技術（講義・演習）
 - 8)～14) 健康教育による支援技術（講義・演習）
 - 15) まとめ
-

【評価】

筆記試験（60%）、演習内容・記録（30%）、出席状況および参加態度など（10%）により評価する。ただし、筆記試験は6割以上の得点を必要とする。

評価責任者 岡本光代

【教科書】

宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学総論第3版」日本看護協会出版会

【推薦参考図書】

村嶋幸代編集「公衆衛生看護支援技術」メヂカルフレンド社

【その他】

- ・事前に教科書の該当ページを読んで履修すること